

学校だより

編集部連絡先*

〒257-0025 秦野市落合500
TEL 0463(81)1429 FAX 0463(83)4118
ホームページ

http://www.hadano-sh.pen-kanagawa.ed.jp/



今年度も残すところあとわずかになりました。保護者の皆様には、再編整備後2年目を迎えた秦野養護学校の取組や、新型コロナウイルスまん延防止のための対応に、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。また、この時期は卒業学年の児童生徒が慣れ親しんだ環境から巣立つ時でもあります。卒業生保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業誠におめでとうございます。今年度も式は規模縮小で行いますが、教職員一同、卒業生の輝かしい未来に想いを寄せ、心を込めてお祝いをさせていただきます。

さて、学校だより最終号では、「次年度の方向性」について書かせていただきます。2月の学校運営協議会では、保護者アンケートの結果と併せて、各部門課程やコミュニティ・スクールの2部会の取組報告をしました。委員の皆様からは、総じて「コロナ禍の制約の中でも工夫して成果を挙げている」との高評価をいただきました。具体的には、「末広小学校との連携や、農業の取組が素晴らしい」「ICTの活用が大きく前進した」「個別教育計画様式の統一は、指導の系統性が見えてありがたい」等です。一方で、課題も見えてきました。そこで次年度は「形式面の整備から内容面のさらなる充実へ」をテーマとし、次の点を柱に取り組みます。皆様の変わらずのご理解とご協力をお願い申し上げます。

○特色ある教育課程の編成

農福連携を見据えた「農業指導」の一層の充実（各部門課程＋「みなで育てるサポーターズ部会」）

○個別教育計画を活用した授業改善

個別教育計画の「小中高の系統性整備」、有意義な雑談から「ミニ研修」へ（各部門課程）

○ICT機器の効果的活用

「学習保障」と「学習指導要領」の理念実現（各部門課程）

○交流及び共同学習の実現

「通常級との交流」の場を開拓（各部門課程＋「ともに進むサポーターズ部会」）



校長 佐藤 雅己

B

今年度、新型コロナウイルスの感染予防対策のため、授業はすべて病棟で行いました。病棟に持ち込む教材を看護師と会議で確認し、安全で楽しい授業となるよう、知恵を絞った1年でした。7病棟と8病棟の友だちが一堂に会することもできませんでしたが、『運動』や『わくわく』の授業はオンラインで2つの病棟をつなぎ、ポッチャの試合をしたり、誕生日や卒業を祝ったりしました。18人全員が画面を通してですが集まることができて、本当に嬉しかったです。授業参観を楽しみにされていた保護者の皆様には残念な年となってしまいましたが、来年度は行事が安心して行えることを祈りつつ、1年間の様々な協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。最後に卒業生の皆さん、卒業おめでとう！



C 今年度、かもめ学級では卒業学年の小学6年生が4名、中学3年生が2名在籍しました。入院中、進路決定の時期には面談を積み重ねたり中学受験に向けての対策を立てたりと、リハビリや病棟生活を送りながら進路に向けての準備及び学習等に励みました。

かもめ学級とすべての卒業生の皆さん、今年度の皆さんは特別な卒業生です。新型コロナウイルス感染拡大防止のため今までにない全国一斉休校を経験し、それを乗り越えた皆さんは素晴らしいと思います。

そして、4月からそれぞれの場所に進学する皆さんには、より一層の飛躍を期待しています。



D 卒業生のみなさん。ご卒業おめでとうございます。

弘済学園の木々の葉も花も風の香りも春を運んできています。

今年度は、小学部5名、中学部9名が卒業を迎えます。新型コロナウイルスの感染拡大の中、学園と学校が協力して授業ができる手立てを考えた1年でした。そして、子どもたちはマスクや手洗いやソーシャルディスタンスも柔軟な気持ちで受け入れ、授業を楽しんでくれました。がんばったこと、できるようになったこと、友だちと一緒に楽しんだこと、いろいろなことを自信につなげて、これからも元気に、心豊かに成長していってくれることを願っています。

E 今年度は「コロナとともに生きる」1年間でした。生徒たちも「新しい生活様式」にすっかり慣れ、その適応力の高さには日々驚かされました。我慢や制限の多い生活の中でも、ささやかな楽しみを見つけ、着実に成長していく姿を見るたびにたくましさを感じます。

1年生のみなさん。入学早々から大変な思いをしましたが、よくここまで成長しましたね！2年生のみなさん。この1年でさらに大人への階段を昇りましたね！そして3年生のみなさん。たくさんのすてきな思い出を胸に未来へとはばたいていってください！

F 臨時休校、分散登校から始まった今年度。感染対策をしながらではありましたが、保護者の方々のご協力もあり、無事に年度末を迎えることができました。ありがとうございます。多くの行事が中止されたり、変更されたりしましたが、学校でできることで経験を積み上げ、みんなが誇らしげな表情で授業や課題に取り組む姿勢に、成長を感じます。

3月18日の小・中学部卒業式では、小学部2名、中学部2名が卒業します。在校生は参加できないのですが、末広校舎からみんなの心を一つにして、「おめでとう！」を送ります。

4月からは、入学・進級する学部クラスで、それぞれの持っている力を発揮して、さらなる成長を期待しています。

G 新型コロナウイルス感染症予防対策で学校生活に変化があった一年でした。その中で、ICT機器を活用した授業やタブレット端末を使用した児童生徒の活動が増えました。新しい発見です。高等部では、訪問生とクラスをオンラインでつなぎ、音楽などの活動を4回一緒に行うことができました。また部門では、鎌倉女子大の大学生とオンラインで3回交流をしました。大学生と一緒にゲームを行い、回を重ねるごとに子どもたちもリラックスして楽しんでいました。

校外に出る活動に制限がありましたが、小学部は5・6年生が戸川公園、2・3・4年生が伊勢原子ども科学館へ校外学習に、中学部・高等部は横浜へ遠足に行きました。白帰りでしたが、小6・中3は富士サファリパークなどへ修学旅行に行くこともでき、楽しい思い出を作ることができました。

ご家庭の協力を得て明るく楽しく過ごすことができた一年でした。

